

元気な まちかど



1 今年も美味しい「甲賀のお茶」

1 news 茶摘みに知事も激励

茶摘みが最盛期を迎えた五月晴れの5月5日、出品茶の手摘みが行われた茶園に三日月知事と中嶋市長が訪れ、柔らかな一芯二葉を丁寧

に摘み取る作業に参加しました。自然条件を巧みに生かしながら年間を通して丹精込めて育てられた茶葉は、良質な香りや旨みを生み出します。

はじめて茶摘みを体験した知事は「甲賀のお茶をもっと多くの方に飲んでいただくよう応援します。」と激励の言葉を送りました。



▲新芽を丁寧に摘む知事と市長

2 音楽で復興を支援

2 news

ピアノを贈ろう!コンサート
～母の日には、お花を買って～

東日本復興支援を目的としたコンサートが、5月10日、あいこうか市民ホールで開催され、500人を超える観客が訪れました。

ゲストに迎えた「Clap Stomp Swingin'」によるジャズ演奏や、地域の合唱団「アフター・アワーズ・コール&キッズ」による合唱と音楽劇が上演されました。

東北各地に伝わる民話や上方落語を基にした音楽劇にはゲストの協力によるジャズ演奏も加わり、次々と披露される歌と踊りに魅了されました。



▲音楽劇「そうべえさんと尻鳴りしゃもじ」の大迫力のフィナーレ

3 news

親子ふれあい講座 陶芸体験
親子ふれあい講座 陶芸体験

親子ふれあい講座の陶芸体験が5月17日、土山中央公民館で行われ、5組12人の親子が参加しました。

四角い土の塊は、親子で協力しながらこねたりちぎったりするうちに、小さくまな個性溢れる形に変わっていきます。

参加者は土の感触や温もりを感じながら陶芸を楽しみ、自分の作品がどのように焼き上がるのか、期待に胸を膨らませていました。



▲初めての陶芸を楽しむ親子

4 news

前挽鋸を体験
「甲賀前挽鋸」国指定記念講演会 前挽鋸実演会

5月23日、忍の里プラザで「甲賀前挽鋸」国指定記念講演会・前挽鋸実演会が開催されました。

前挽鋸や関連資料が今年3月に県内で初めての国の重要有形民俗文化財に指定されたことを記念し、専門家による講演と元木挽職人の田中新治郎さんによる実演が行われました。

田中さんが丸太を製材する熟練の技を披露した後、参加者も前挽鋸を使った木挽ぎに挑戦し、甲賀の職人の技術の高さに触れました。



▲田中さんの指導を受けて前挽鋸を体験する参加者

6 news

都会の中学生が農作業に挑戦
都市農村交流事業

都市農村交流事業として取り組んでいる「忍者の里」うかで田舎体験」が5月から6月にかけて行われ、神戸市などの中学生およそ1,000人が、市内を訪れ農村生活を体験しています。

5月25日、甲南町杉谷では神戸市から来た中学生が、レタスやホウレンソウなどを収穫し、自分で採った野菜を使って夕食を作りました。

体験を終えた生徒は、「畑作業は大変だったけれど、採れたての野菜は新鮮でとてもおいしかった。」と嬉しそうに話していました。



▲畑作業を体験する神戸市立長峰中学校の生徒

5 立派な社会人を目指して

5 news

新就職者激励会

市内の企業・事業所に新しく就職された方を対象とした、新就職者激励会が5月19日、碧水ホールで催され、63社から229人が参加しました。

新就職者を代表して、株式会社ジーテクトの富加津力さんが「自己研鑽に努め、感謝の気持ちを忘れることなく、立派な社会人になれるよう努力します。」と力強い抱負を述べました。

その後、音楽グループ「JERRYBEANS」による講演ライブも行われ、参加者は不登校を経験したメンバーの心のこもった歌やメッセージに聞き入っていました。



▲抱負を述べる新就職者代表の富加津さん